

写真の記憶

—作家・宇野浩二の旅写真が語るもの

日時 2023年5月20日(土) 14時~15時30分(開場13時30分)

会場 福岡市総合図書館3階第2会議室(福岡市早良区百道浜3-7-1)

講師 中山千枝子

(当館学芸員・「まなざしと記憶—宇野浩二の文学風景」展担当)

入場
無料

定員 40名(要事前申し込み・抽選) 申し込み締切 5月12日(金曜日)

応募事項 (1)氏名 (2)郵便番号 (3)住所 (4)電話番号 をもれなく記載し、ハガキ、FAX、メールのいずれかの方法でお申し込みください。(1人1口) 定員を超えた場合は抽選となり、当選者(受講決定者)のみ連絡します。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、プログラムが変更となる場合があります。

講師からのメッセージ

昨年度企画展「まなざしと記憶—宇野浩二の文学風景」で作家・宇野浩二が撮影した写真群を作家の没後初めて公開しました。宇野が撮影した写真は、作家が世界をどのように見ていたかを雄弁に物語ってくれます。

今回は、その写真の中から大正10年に友人の作家たちと北部九州を訪ねた際の写真を中心にご紹介します。百年前の知られざる旅の記録には、私たちのよく知った風景がたくさん写りこんでいます。彼らが旅した場所は、現在どんな風景になっているのでしょうか？百年前の旅の足取りを辿りながら、宇野浩二の写真の魅力に迫ります。

§お申し込み・講座に関するお問い合わせ§

ハガキ 〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1
総合図書館文学・映像課 福岡市文学館担当

FAX 092-852-0609

Email bungakukan@city.fukuoka.lg.jp



1921.7.28撮影
西中洲側から天神橋を望む